夕刊 磐城新聞

七月十九日發行

定價 一ヶ月金六十五錢 廣告 發行兼編輯人 印刷人 發行所 磐城新聞社

（日曜祭日翌日休刊）

將軍再生

友常太輝

（4）

再び木から落ちた猿になつた光吉は、水面に映る月かげを掴むほどの落膽の中に、またも職漁りに懸命にならねばならなかつた、當時築地海岸に埋立工事があつた。數百の人夫がまつ黑になつて働いて居る、迷ひに迷ひ、疲れに疲れた彼はやむなく其處へ行つて使用方を嘆願した

人夫の親方はシゲ／＼光吉を見乍ら

『お前に土が昇げるかい？その身体ぢや危いもんだぞうだ字が出來るか？ナニ出來る、書いて見ろ！』

美事に書いた達筆に、親方は驚嘆しながら

『ウム、ナカナカうまい、餘つぽど學校を遣つたんだな？ウーよしよし、丁度帳附を一人ほしいと思つて居た處だ。給金は安いが仕事は樂だ、帳附になれ！』

うまい具合に採用されて始めて安心した。彼は翌くる朝から、辨當かゝへてセッセと通つた

月給は少かつたが、彼はその時、叔父に當る人が築地邊で炭の小賣りをして居たので、其家のうす暗い二階の三疊の一間に寢泊りして自炊して居た。そして食ふには困らなかつた。其家の叔父の娘にお光と云ふ女がある。日本橋のある藝妓家に半玉となつて居たが、あまり酒も好くない上、頗る踊りが無器用だと云ふので返されて家に居た。年齢は未だ十七だが、小間しやくれて一ぱしの浮氣者だ。獨り者の光吉と忽ちの間に情意投合して誰れ憚らず振舞つて居た。親の叔父夫婦も見て見ぬ振りに許して居る。

『女と米のめしは何處にもある』

と光吉はエヘラエヘラ笑つて居た

三、落城出來るか

郷里に殘された光吉の妻は、其後も血眼になつて良人を探した。或日の暮合、神田邊をテクテク歩く光吉の姿を、不圖見付けてコッソリ跡を跟けた。そして隱れ家を完全に見屆けた。夜叉の様に怒り猛つた妻は凄まじい顔して、其夜其家へ躍り込んだ

『私は光吉の家内です。お宅に光吉が居ることをチャーンと聞いて調べて來たのだから逢はして下さい』

息をハッハッさせて叔父夫婦を睨み付けた

あの窓は

深草さゆり

あの窓は
何時か海を 見た窓
白帆が一つ
とても ちつちやかつたよ
あの窓は
何時か空を 見た窓
三日月が
とても 光つてゐたよ

夏の晝

新妻新二

かげろうもゆる
夏の日に
牧場の牧場の
牧主さん
つの笛吹いてやぎ
つれて廣い野原
で遊んでた

磐城歌壇

新妻久滿夫選

『季節に因めるもの』

佳作 加藤純弘

○雨霽れて葉末に露の未だ干ぬ、紫陽花の花は麗はしきかも

小評 下の句が平易な詠歎に流れてしまつたのは惜しい極である

金井村 鵜沼深水

○旅人や夏の暑さに耐へかねて、青葉の下に眠りけるかな

○朝顔の花しほれゆく晝時に、眞夏の光容赦なく照る

うしほのこゑ

○蟻地獄 例會席上互選

庭掃きし僧の見つけし蟻地獄 枯萍
風吹いて頭出したりあとずさり
蟻地獄にひかゝる毛虫見てゐたり
落ちこみし虫のもがきや蟻地獄 北窓
根上りの大樹の下や蟻地獄
蟻地獄觀音堂の椽の下
今朝もまた掃き拂はれし蟻地獄 松堂
松風や軒の下なる蟻地獄
打水に押し流されし蟻地獄

春生（ハルミ）

香藤晴見

六

『困つたなア――』

『出來てしまつた事はねェ――』

宿の女將、女中達に玄關へ見送られ貸切車で停車場へ着いたのは汽車時間十分程前、疲勞と悲しみの内に義彦は車中の人となり春生はプラットホームに立ち

『兄さん今度は何時お逢ひ出來るかわかりませんねェ……御縁がなかつたら永々かも知れませんは――だけど心は永久に兄さんの下でお逢ひして居る氣よ――大事にね』

義彦は何も言へなかつた

――一番神經が尖つてゐた言葉が突飛に

『お前、何時お嫁に行くの』

『兄さん何故そんよ念聞くの？――兄さんは私の氣持わかつて呉れるじやないの今更お嫁に行くなんて言ふお事私考へてゐやしないわ――』

汽笛一聲ゴトンと列車は動き出した

『サヨナラ……』

『御氣嫌よう……』

二人の手は汗ばみ堅く握手され――御互の胸は涙にくもり霞の奥に觀る山櫻の姿なり……

（完）

〔社會の今日〕

7月20日

△英國と通商條約を締結す（安政五）△楠公に正一位を贈る（明治一三）△獨逸救濟の七ヶ國會議をロンドンに開く（昭和六）△イタリー内閣大改造△ドイツ大統領緊急命令を發し首相パーペン氏をプロイセンに對する聯邦最高委員に任命（同七）

○

相追ふて青田の上を走りゆく、風のすがたのおもしろきかも 依田秋圃

避暑の宿撫子挿さん壺もがな 富安風生

講談 浪人長屋

（143） 日岐武志作 月嶂道子畫

入智ゐ

『なーいね、金なし侍ちやしようがないぢやないか、どうだねお園さん、旦那と別れるのが嫌なら、女中に出ても、出たら、どうだね……』

『女中に……』

『女中といつたつて、お邸奉公ぢや、可愛い旦那に、あひたくなつても、めつたに勝手に出られないから、お座敷女中に、なるのさよ』

『お座敷女中ッて――』

『茶屋女や、飯盛とはちがふよまアね、兩國の常磐家とか、芝の水月とかね、あゝいふ大きな料理屋の女中になるのさ、客種がいゝから、お針仕事なんかやつてゐるよりも、よつぽど身入りがあるしそれに、住み込みでも、かよひでもいゝだからね』

『さア……』

『こゝで、よく考へてごらんなまだ若いんだから、行先き當のない侍なんかにくつついてゐるのはどうかとおもふよ、お園さんのきりやうなら、貰ひ手は降るほどあるよ、よい男をだましし、ツついてしまふのさ』

『そんな、恐いことが……』

『恐いなんかと、思つてゐたんぢや、人間一代出世は出來ないよ、けれど、どうでも今の旦那と別れたくないなら、女中稼ぎをして旦那を養つてやるもいゝさ。わたしの知合ひの人にたのんで、どこかよい料理屋へ世話をしてあげるよ』

『まア、お婆さん、よく考へてみなければね』

『考へてみるまでもないとおもふよ。いゝ着物を着せてもらつてうまいものが食へて、金がとれるなんて三拍子揃つたこんなよい商賣は女でなきゃ出來ないことなんだよ』

お仙婆さんは、すぐにでもお園を女中に仕立てかねまい熱心さである

『まア、兎に角、うちの人とも相談してみないことには――それに、あたしのやうな氣のきかぬ女が……』

『なアーに、その點は心配ない、堅氣から急に客相手の水商賣にはいるんだから、ちッとは樣子がわからないかも知れないが、すぐと男の一人や二人、だまし込んでしまふ手管なんざ、敎はらなくつたつておぼえてしまふもんなのさ』

お仙婆アさんは、お園がさしだした澁茶をごくりとうまそうに呑んだ

『あんたのきりやうならたちまち、看板女中になつてしまふよ。いゝ客がすぐつくにきまつてゐるさ。悪いことはすゝめない。やつてみなさいよ。お針なんかやつてるよりは、どんなにおもしろくて、ましだかしれないよ。やつてみていやだつたら、すぐよしたつていゝちやないかね』

儲けづくかどうかわからぬが、お仙婆アさんはいやに熱心にすゝめるのである

――やつて、みやうかしら……

うまい話に卷き込まれてお園は、ふッと、そんな氣が、心に動きかけてゐた

『でも、なんだか……』

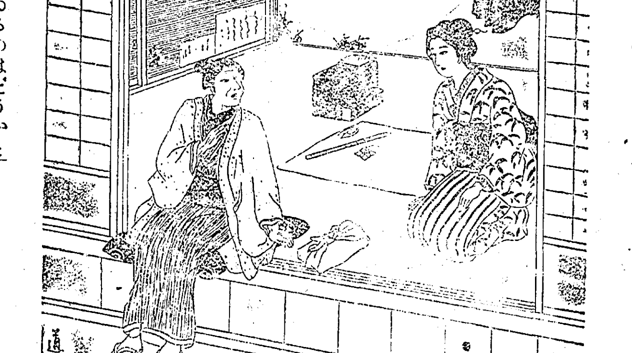
と、口ごもつてためらつた

『どうでも、といふわけぢやないさ。だがね、あんたの苦勞を見乘て、すゝめてゐるのさ。悪いことはすゝめやしない』

『えゝ、ありがたう。よく考へてみませう……』

『なんだか、氣乘りしないやうぢやないかね、お園さん……』

お仙婆さんは、さういひながらいやしくわらひ乍らお園の片ゑくぼをみつめた



廣告

磐城名物 靈峰羊羹（みやうほうようかん） 小川郷驛前 平屋賣店

前田醫院 院長 前田清美 植田町電話一二四

吉田眼科病院 平町紺屋町 電話六八番 醫學士 吉田久雄

毎度御引立を戴いてゐる 藤寅 では例年通り 冷タイ美味しい飲物!!
アイスクリーム・アヅキアイス
ミルクセーキ・ソーダ水
ミツ豆 其他氷水各種
相初めました是非……夏の夕御散歩歸りに御立寄り下さい。

出前迅速 平一丁目 藤寅 電話一四一番

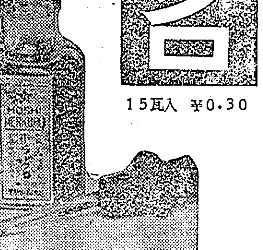
クスリはホシ★

健胃整腸劑 ホシ胃腸藥 特大 二・〇〇 大 一・〇〇 中 〇・五〇 小 〇・二〇

消化劑 ホシ胃腸錠 三九錠 〇・三〇 一五錠 〇・二〇

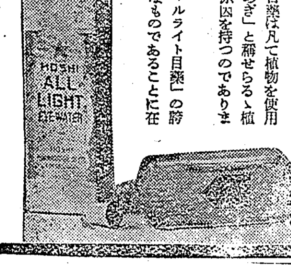
胃腸整理藥 ホシチヤコール錠 三〇〇錠 一・〇〇 一三〇錠 〇・五〇

外用と皮膚病の家庭常備藥 ホシマークロ 15瓦入 ¥0.30
◇主治効能 創傷、腫物、濕疹、とびひ、乾癬、蕁麻疹、皮膚搔痒症、しらくも、はたけ、たむし、いんきん、みづむし



脚氣諸症最新藥 ヴイタミンB劑 ホシB・G 二・〇〇 一・〇〇 〇・五〇
◇本劑一錠は玄米三百瓦（約二合）の含有するヴイタミンBに相當します
◇本劑はヴイタミンB以外にも重要榮養素を多量に含有するを以て脚氣の根本治療に適切であります

ホシオールライト目藥 ホシ目藥
（1）文化藥劑としての目藥の任務は收斂消炎、消毒、防腐の作用を持つべきものであることは說明を要せぬ所でありますが、問題は原料の精選にあり、そして又一時の苦痛を除かんがために強烈な藥劑などを用ひて將來の禍因を作つてはならないとであります。
（2）しますになほる「ホシオールライト目藥」は、「ホシ」の研究室が、「植物性の物を主食とする國民にとつては植物性の藥劑が適切であるべき筈である」との見地から、研究し製劑したる目藥であります。
（3）日本古來からの目藥は凡て植物を使用致しました。「めぐ」と稱せらるゝ植物の名も此處に原因を持つのであります。即ち、「ホシオールライト目藥」の誇りは、純日本的なものであることに在るのであります。
（點眼容器入） 〇・二〇 〇・三〇



東京・五反田 星製藥株式會社

ホシチエンストアー平支部 ホシ藥舖 平町三丁目三〇 電話四二九番

（1）「ホシ胃腸藥」は芳香性、苦味性、苦味性等の健胃劑を適當に配劑し、消化機官の活動を促進せしむるものであります。
（2）「ホシ胃腸錠」は澱粉消化酵素たる「ヂアスターゼ」と蛋白質消化劑なる含糖ペプシンとを各々四〇%づゝ含有し、藥劑それ自身が直接に食物の消化に任ずるものであります。
（3）「ホシチヤコール錠」は活性炭素の錠劑でありまして、胃腸障碍の原因たる有毒瓦斯、毒素等を吸着して體外に排出します。
（4）藥劑治療としてはこの三種が胃腸障碍に對する三つの治療法を示すものであります。
（5）即ち消化器に向つて命令したり、おごしたり、すかしたりして十分に其の機能を發揮せしめ健全なる胃腸を保たしむるもの「ホシ胃腸藥」。消化不良を救助して胃腸機能を恢復せしむるのが「ホシ胃腸錠」。胃腸内に有毒有害の物が存在する時、悉く之を吸着整掃するものが「ホシチヤコール錠」。

未だ安心は出來無い 愚圖つき勝ちの天候
今の處觀測は一時的の晴?

照り出した、赫と照り出した。去る八日の日曜から曇り出して雨。曇りの連續で陽を見ざる事實に十日餘り昨夜の雨を以て一切を淸算したものか、朝の間一寸愚圖ついて愈々明二十日土用を迎ふる人々の氣を揉ませたが、九時―十時―となるに及んで靑空が段々擴大され氣溫がグン〱上昇して十時半頃には二十八度(八二、四)と云ふ本格近い陽氣に、暑熱の受難もさる事乍らお互久し振りで晴闊から出た樣な晴々しさを感じた。が行く雲のたゝずまひは未だどうやら本當で無いらしいので例の小名濱測候所に伺ひを立てる、金華山沖に小さな低氣壓が起つた爲、氣壓の配置に變化を來した處から一寸晴れたので七六四ミリの高氣壓が依然オホーツク海に頑張つて居るから之れで恢復の域に入つたとは受取れぬので所詮一時的の現象と觀るより外無い、尤も小笠原方面の氣壓が僅か乍ら上つて來たので日中少しづゝ照る位の事はあらう、云々とあつて未だ尚ほ全幅の安心を置く程度には行つて居ない樣である

氣紛れ陽氣に 「戸惑ひしたキノコ」
平窪村に續々發生

變態氣候から來た茸異變―時ならぬ氣紛れ天氣に戸惑ひしたものが平窪村山間方部に最近色々の茸が續々發生し同方部の居住民は連日茸狩りに忙しくこの不意の珍味に舌鼓を打つて居るといふ珍現象を呈して居るが古老連も曾て覺えの無い事であると語つて居る

今後の如何で 米作は增收 蔬菜は不成績
農試矢ケ崎技手談

蔬菜類中茄子、トマトは品質保持の上から最も懸念されてゐた光澤極めて惡しく加之に落果、俗稱尻くさり病が續發、黃瓜は收穫期を過した關係から被害も少いものと觀られるが氣溫低下から不作、南瓜、西瓜も同樣の結果である、果實方面では桃が出廻り季にあるがこれ赤雨期が長かつたので甘味が乘らず、梨子に於ても白星病發生から本郡主要產地である赤井、平窪方面の收穫は約二割減を豫想されてゐる、稻作も分蘖順調でなくイモチ病の發生から現在の處發育を阻止された形にあるが今後土用中の天候が順調であれば平年作以上に上るだらうと一縷の望みを抱かれてゐると

師範同窓生 應援費募集

縣師範學校同窓會石城支部では來る可き縣中等學校野球大會に出場する同校ナイン應援の爲各二十錢宛を醵金し選手並に附添員に記念品を寄贈すべく目下募集中である

町村事務指導
郡下開催日割場所

(括弧內集合町村)
八月十日―平國体事務所(平、飯野、夏井、高久、豐間、鹿島、內郷、好間、赤井)十一日―同所(江名、小名濱、玉川、磐崎、湯本、永戸組合、平窪、上小川組合、澤渡組合、川前)十二日―植田町役場(植田、泉、渡邊、山田、錦、勿來、上遠野、入遠野、川部、田人組合)十三日―四倉町役場(四倉、大野、大浦、草野、神谷)

各球場整理
大會準備進む

縣下中等校野球大會も三日の後に控へ各方面準備に急しく磐中校では一週間以前から毎日餘暇ある每に全校生を動員校庭の地均しその他準備を續けてゐるが今十九日は他の二球場地元たる湯本、好間よりの通學生を調査し大會迄の諸準備を手助けすることになつたと、尚湯本町營グラウンドは篠掛に日原校長の張込みから毎日同校兒童により地均しを行つてゐると

一家三軍人
郡關係第十一回分

一家から多數の兵役服務者を出した譽の家庭に對し陸軍大臣は過般來表彰を行つて來たが本郡關係の第十一回分發表左の諸氏である

一家三名(表彰狀)澤渡村田子仙一、大浦村古市要治、同岡田作造、同渡邊留松、同舟野忠吉、同佐久山甚之助、同高崎喜一、下小川村花野廣藏、大浦村愛川淸治、同渡邊孫太郎、同新妻彌八、平町和賀喜作、江名町馬目直發、同高津幸三郎、同馬目留吉、同河野留三

。。。。私立靑訓認可。 勿來町大字酒井字出藏の大日本炭鑛第二坑事務所に私立靑訓設置を申請中だつたが此程認可された

本縣各代表も列席 農村對策を練る
昨日の東北々海道協議

北海道東北六縣農村對策協議會は昨十八日午前十時から東京府商工奬勵館に於て開會、本縣の釘本縣會議長、澁井、金成兩貴族院議員、佐藤、菅野兩衆議院議員其他合計三十餘名出席、各道縣別に政府に對する救濟要望の希望を述べ、米穀問題と蠶絲對策につき陳情方法を協議、午後一時散會した

政府米百廿六石 平町內の希望を纏め 其筋に拂下申請

平町農會では既報の如く町內農家の約半數以上が五ケ月餘以上の飯米不足を告げてゐるので俵當り約二割安の政府米拂下げを仰ぐべく過般來希望高を取纏め中だつたが愈々今十九日で締切つたが總高三百十五俵(一二六石)人員八十名で直に申請する事になつたと

鄉土產業實地調查
平商上級生の暑休行事

平商では磐中磐女と同時に明後二十一日より愈々暑中休暇に入るが例年通り四、五年生一同はこれを利用し鄉土產業の實地調查と之れが資料蒐集に努める事になり今十九日は夫々關係方面に依賴する所あつたが調查範圍及指導敎師は左の如くである

炭鑛調查(大澤)農家經濟調查(玉手)農業倉庫研究(宮澤)郡下淸酒釀造の消長、醬油釀造並に自家用醬油の狀況、魚粕の研究(武川)磐城米の配給組織(大澤)

經濟更生協議

今年度經濟更生村に指定されて平窪、大野、草野及双葉郡大久四ケ村聯合の經濟更生協議會は今十九日午前十時から平國体事務所に於て縣農務課成島、川邊、白木三技師を招き開催、各村長、助役、農會技術員、靑年團員、信用組合員其他約四十名參集した

体育ダンス講習
郡女敎員會の主催で 各家庭主婦の受講も歡迎

郡女敎員會では既報の如く來月七、八、九の三日間平第二校講堂に体育ダンス講習會を催すが講師は敎材檢定委員として全國的に斯道の統制に貢獻してゐる靑山師範學校訓導、大日本体育ダンス研究會長澁井二夫氏で講習科目は文部省要目準據体育ダンス、檢定敎材ダンス及び家庭用体育ダンスで一般家庭主婦の家庭に体育ダンスを取入れんとする向の受講を歡迎すると

平町春繭況
十戸の收獲五百圓

平町役場調査によれば町內春蠶生產況は養蠶家十戸で上繭二一五貫(四七三圓)屑繭一七貫(一七圓)玉繭二一貫(一六圓)で總高二百五十三貫、此の金額五百六圓で相場は上二圓二十錢、玉一圓、屑が八十錢であつたと

娼妓は酌婦乃至從業員 女郎屋は料理屋又は娛樂場と改稱
近く鎌田にも劃期的改革

廢娼問題は漸次世論の高唱するところとなり近年當業者も亦娼妓稼業の到底存立し得べき性質のものにあらざることを覺り殊に藝妓、酌婦、女給の三方面から壓迫さるゝ平町の如き漸く轉廢業者を出さんとしてゐるが昨年娼妓自由外出許可の規則が出て以來一層娼妓の存在を不可能ならしめる觀があつたが今度內務省ではいよ〱現在の娼妓取締規則を廢止し廢娼を斷行する事となつたしかし現在の娼妓を全然廢業させ女郎屋を撤廢させて了ふといふ譯でなく娼妓の名稱を廢し娼妓は酌婦乃至從業員として存在することを許し、現在の女郎屋は料理屋または娛樂場と改稱するものであるが娼妓入員については非常に嚴格なる取締りをなし現在以上に許さず、新規出願に對してはなるべく許可せざることに制限を加へ結局この種職業婦人の絕滅を期せんとするものである、なほこの廢娼規則は九月一日若しくは十月に內務省令を以て公布されることになつてゐる

第二小學 舞踊の夕
來二十八日開催

平第二校では既報の如く來る二十八日午後七時から同校講堂に左記番組により『舞踊の夕』を催すべく目下各學年共練習を續けてゐる

一年―唱遊『螢、せんこ花火』劇『すゞめ』二ノ一―唱遊『あの道小路、ひばり、もちつき』二ノ二―唱遊『折紙、魚やさん』二ノ三―唱遊『イギリス水兵、鳩さん、水車』三ノ一―律動遊戲『てふ〱』三ノ二―唱遊『田植、螢』三ノ三―唱遊『よいよい横町、なみ、お天道さん』四年―劇『稻刈兵士』五年―遊戲『日出づる國に榮光あれ、荒城の月』六年―遊戲『月の砂漠、流れ星』高一―唱歌『樂しき森』二年―劇『ペスタロッチ』

監視日誌を設け 各自に風紀維持
奇特な小名濱のカフエー

灯赤き港の町といふ先入主から殊に夏來れば色んな意味で其筋から睨まるゝ小名濱町では種々雪冤的の對策を練りつゝあるが地元カフヱー組合でも過般來自發的に監視日誌なるものを設け每夜組合員一名及至二名宛巡回し夜間喧噪、超特サービス、閉店時間などを監視し且つ女給に對しては一切の外出を禁ずる等些か酷に過ぎる程度の取締をなし非常に好成績を擧げて居るが來る可き海水浴季中は一層その萬全を期す可く目下寄り寄り協議中であると

信組執務時間短縮

信用組合平庶民金庫では職員の夏季休養を圖り明二十日より向ふ一ケ月間執務時間を午前八時三十分より午後二時迄に短縮實行すると

磐女庭球成績

磐女校各部では昨十八日放課後全校生の應援を得て同校職員及平第一校職員と猛練習を行つたが庭球部の成績左の如くであつたと

大瀧・越 2―3 上川・松本正
同 2―2 淡路・日野
同 3―1 橫田・武藤
熊谷・渡邊 3―1 水竹・松本政
同 3―2 松浦・鈴木

丑の日に卅頭を征服
牛、馬、豚の消費豫想

平屠畜場に於ける去る一月以降去月末迄の屠殺量は(括弧內肉量)
牛五〇頭(九、五八八瓩)小牛一(七六瓩)豚八四八(四〇、五八五瓩)馬一三九(一八、三三九瓩)計千三十八頭、六萬八千五百八十八瓩で昨年同期の千百七十五頭、肉量七萬二百三十四瓩に比し豚に於て百四十六頭を減じた外大差なく結局百三十七頭、千六百四十六瓩の減少を示してゐる、尚今年の第一丑の日は來る二十九日で昨年同日には牛八、豚一四、馬六、計二十八頭を消費したが今年も三十頭內外であらうと

山口敎諭琉球臺灣見學

磐女敎諭山口彌一郎氏は今夏季休暇中を利用し約四十日間の豫定で琉球、臺灣方面の見學を行ふべく明後二十一日午前零時五十六分で出發すると、同氏の行程は

平―宇部―筑豐―鹿兒島―大島―那覇―宮古島―八重山島―西表―基隆―霧社―屛東―鳳山―神戶―平

で宇部、筑豐炭田を再調査九州帝大木下理學博士を訪問の上琉球に於ける土人の村落、臺灣北部炭鑛、霧社に於ける蕃人の聚落、屛東鳳山附近の農村等を見學調査の上八月下旬歸校の豫定であると

水產敎員講習

水產補習學校專任敎員の資質向上のため文部省では七月二十四日より八月十二日まで二十日間東京市深川區越中島水產講習所において開催するが本縣からは左の二名出席する

△江名實業公民學校助敎諭阿部文雄△四倉實踐水產學校助敎諭引地文雄

。。。。四時川鮎釣會計劃。。。。 鮎の名所、四時川の地元川部村有志の魚族を養殖して料金制の釣大會を催す計劃は種々の都合で今年は實現されなかつたが關係者の熱心奔走により遠からず實現されるものと期待されて居る

平館今夜から開場

平町の活動常設館として古い歷史を有する平館は既報の如く從來の經營者松田卯次郎氏が引退し大谷、島田兩氏の後援により館員一同の相互會組織に變更愈々今十九日より開館する事になつた

健康相談所利用者增加

平簡易保險健康相談所は最近四ツ倉、湯本方面からの利用者もあり益々その實績を擧げて居るが去月中の相談者初回者三百三十五名、延人員二千二百三十六名に對し今月は昨十八日迄に既に初回者二百十名、延人員千三百七十六名に上り更に增加の傾向を示してゐる

。。。。石炭試掘許可。。。。 東京市赤坂區靑山南町三丁目澤田榮吉外二氏出願の四倉町及び双葉郡久之濱町、大久村に跨る七十二萬八千坪の石炭試掘は此程許可になつた

。。。。劍道資金割當。。。。 平町小學校兒童保護者會が過般來募集した第一、第三兩校兒童劍道用具購入資金は合計八百十圓外道具一式一組であり之が割當は第一校四百六十六圓六十錢、第三校三百十三圓及右道具一組である

。。。。統計講習出席。。。。 內閣統計局統計講習會は來る二十三日より來月十一日迄東京帝大內で開催、本郡からは內郷村役場吏員渡邊武[illegible]氏が出席する

。。。。板の間稼ぎ。。。。 勿來町久保田生れ藤田勳(三二)は去月廿日安達郡高月村熱海溫泉上野常一郎方脫衣場から浴客の現金廿圓を竊取逃走中一昨十七日郡山署員に逮捕された

。。。。手長小僧。。。。 小名濱町大字中島馬上某方雇人双葉郡幾世橋村大字棚鹽生れ横田庫吉(一六)假名―は昨年八月から十月までの間に前後三回に亘つて双葉郡幾世橋村大字棚鹽大塚シカ方に忍び入り現金合計三圓十錢を竊取した事發覺浪江署で取り調べ中

。。。。支柱夫會計を欺く。。。。 內郷村宇金坂居住磐城炭鑛支柱夫川村正一(三三)は昨年十一月同村磐炭坑夫牧野熊太郎所有の同鑛積立通帳(額面三百圓)を紛失したと詐稱同人より頼まれた如く裝つて文書を僞造、同會計課より再下附を受け中百五十圓を詐取費消した事發覺今十九日午前五時頃同村駐在佐藤、館內兩巡査に寢込みを襲はれ逮捕された、尚竊盜數件を自白した

。。赤痢。。 平町彌宜町六八鈴木宏二(五)は去る十六日赤痢と決定隔離された

吉田眼科病院

二十日
日出 四、三九 月出後 〇、三二
日沒 六、五五 月沒後 一一、〇三
滿潮 前一一、一五 後一〇、三五
干潮 前四、四〇 後三、五五

新七月二十日 金曜 舊六月 壬辰 友引 九收 鬼宿

東京市本郷區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神宮館 謹 鑑定
▲一白の人 經濟上の進出より保健衞生に努むるが吉し▲二黑の人 危險を侵してまで進むに及ばず定業を守れ▲三碧の人 攻防共に嚴にすべし又口舌爭論を起さぬ事▲四綠の人 舊態の爲持に努むるは萬策に優れりと知れ▲五黃の人 柔を以て剛を制するの心懸けが肝要病注意▲六白の人 家運增長の日新規計畫或は事業の擴張亦吉▲七赤の人 百事好轉すべき日力を盡せば盡す程功あり▲八白の人 勢に任せば素志と反するの結果を招くべし▲九紫の人 ばう大の希望を起さず定業に親むべし金談凶

氷水
三七三(みなさん)!氷水の御用命は多少に不拘大勉强の電話三七三番へ御用命願ます。
並、水 金四錢
イチゴ水 金八錢
あずき氷 金八錢
みつ豆 金八錢
其の他種物一切 金八錢
十一屋 四丁目 電話三七三番

天地に滿ちる旺盛な活力素
夏は行け!
野に!山に!海邊に!
三四年型デラックスセダンで
三井タクシー
電話六八五番

小兒科 內科 花柳病科
平町ねずみ坂
渡邊醫院
電話一六一番

樂い夏が訪れました
御家族樣連れの御散策にも急を要する御用にも
是非尼子タクシーを御願致します。
平二 電六四〇番